

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4 -	農業・漁業を振興する	産業振興部、農業委員会事務局					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
農地利用集積面積	ha	122	139	145			142
漁港施設の機能保全 (更新率)	%	35	66	75			100
関連事業							
漁業理解促進事業 都市農業促進事業 ひらつか花アグリ推進事業 担い手総合対策事業 農道・用排水路整備事業 水産振興推進事業 農地流動化促進事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		230,029	114,619				
執行率(%)		63.23	93.02				
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「農業・漁業の経営安定に向けた支援」 融資資金への利子補給や機械導入支援など、様々な相談に応じながら、経営安定に向けた支援をしました。 水産資源の保全や増加を目的としたヒラメなどの稚魚放流事業を支援しました。</p> <p>「農業・漁業の生産基盤整備の推進」 農業・漁業の生産性向上のために、農業では農道や用排水路の改修を244m行い、漁業では漁港施設の維持・補修を行いました。</p> <p>「農業・漁業の担い手の育成の支援」 就農や経営効率化に係る様々な相談に応じながら、就農当初の資金や規模拡大を支援するなど、9経営体の本市への就農及び5経営体の認定農業者への誘導を促進し、新たな農の担い手として14経営体を確保しました。</p> <p>「農地流動化促進」 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地の貸し借りあっせん、農地中間管理機構との連携、「農業支援ワンストップ相談窓口」の活用により145ヘクタールの農地集積を図りました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「農業・漁業の経営安定に向けた支援」 スマート農業の導入を支援するなど、経営の効率化を進めていく必要があります。水産資源の減少に対応していく必要があります。</p> <p>「農業・漁業の生産基盤整備の推進」 生産性向上のために、選択と集中の徹底により、効果的な整備を進める必要があります。</p> <p>「農業・漁業の担い手の育成の支援」 新規就農者が、いかに農業による将来展望を描き、定着を進めていくかが課題です。また、安定した農業経営や規模拡大を図る認定農業者等を育成する必要があります。</p> <p>「農地流動化促進」 農業者の高齢化、担い手不足等により遊休地が増加する中で農業経営の効率化を図り、併せて遊休農地の削減に向けた取組が必要です。</p>	<p>「農業・漁業の経営安定に向けた支援」 各種支援策を継続するとともに、必要に応じて新たな支援策へ見直します。放流する稚魚の種類や量を増やす取組を支援します。</p> <p>「農業・漁業の生産基盤整備の推進」 計画的な整備と随時発生する補修などとの整合性を図るとともに、施設の長寿命化に取り組みます。</p> <p>「農業・漁業の担い手の育成の支援」 新規就農者に寄り添ったサポートの充実や、就農当初の資金を支援するなど、地域への定着を図ります。また、先進技術の導入等を促進し、強い経営体の育成に努めます。</p> <p>「農地流動化促進」 農業委員及び農地利用最適化推進委員による貸し借りのあっせん、農地中間管理機構との連携、「農業支援ワンストップ相談窓口」の活用により、新規就農者や法人参入など多様な担い手への貸し借りをを行い、農地の流動化（利用集積）の推進を図ります。</p>